



『令和5年度上期 事業実績』の公表

令和5年度上期(令和5年4月～令和5年9月)の事業実績を、以下のとおり公表します。

《令和5年度上期 事業実績》

	件数 (前年同期比)	金額 (前年同期比)
保証承諾	11,203件 (118.0%)	1,824億円 (131.0%)
保証債務残高	117,676件 (92.8%)	1兆3,615億円 (89.8%)
代位弁済(元利)	919件 (156.6%)	103億円 (171.4%)

保証承諾について

令和5年度上期の保証承諾は11,203件、1,824億円で、前年同期に比して件数で1,710件増加(前年同期比118.0%)、金額で432億円増加(前年同期比131.0%)した。

保証承諾の実績は、「伴走支援型保証」をはじめとする各種借換制度の取扱いが増加した。「伴走支援型保証」は、令和5年1月の改正により「新型コロナウイルス感染症対応資金(以下、ゼロゼロ融資)」の借換が可能となっており、以降、保証承諾実績のほぼ半数を「伴走支援型保証」が占めている。

この背景には、令和5年6月から10月にかけてゼロゼロ融資の実質無利子期間の満了に合わせて返済を開始する事業者が集中していること、同時期に円安の進行や資源価格の高騰に伴う物価高の影響により、借換による返済負担の軽減を希望する中小企業・小規模事業者が多かったものと分析している。

保証債務残高について

令和5年9月末の保証債務残高は117,676件、1兆3,615億円で、前年同期より9,158件減少(前年同期比92.8%)、金額で1,546億円減少(前年同期比89.8%)した。

保証承諾は前年同期比で増加傾向にあるものの、ゼロゼロ融資の返済により、償還金額が保証承諾金額を上回ったため、保証債務残高は減少が続いている。

代位弁済(元利)について

令和5年度上期の代位弁済は919件、103億円で、前年同期に比して件数で332件増加(前年同期比156.6%)、金額で43億円増加(前年同期比171.4%)した。

代位弁済は、件数・金額ともに令和4年度を上回るペースとなっている。ゼロゼロ融資の実質無利子期間の満了や返済の本格化に加え、物価高の影響に直面して業績回復が遅れ、事業継続が困難となった中小企業・小規模事業者が増加したものと分析している。

今後に向けて

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類され、経済活動の正常化に向けた動きがみられるものの、依然として円安の進行や資源価格の高騰に伴う物価高の影響などにより、中小企業・小規模事業者を取り巻く経済環境は厳しい状況が続いている。また、ゼロゼロ融資については、返済開始を迎える事業者の次のピークを令和6年3月から4月にかけて迎えることから、下期も資金繰りの安定を主眼とした借換保証の需要が高いものと予測している。

そのため、引き続き金融面では「伴走支援型保証」を活用した借換により、資金繰りの安定に向けた取組みを後押しするとともに、経営面では中小企業・小規模事業者との対話を通じて経営課題を整理・共有し、実情に応じた経営支援を提案していく。

こうした取組みを通じて県内の中小企業・小規模事業者の事業継続の支援に努めて参りたい。

《参考》

